

## 田中貴金属工業、FC EXPO 2016 に出展

### 白金系電極触媒や水素透過膜などに加えて、水電解用電極触媒を初展示 燃料電池の本格普及に向けた、田中貴金属工業の取り組みを一挙に紹介

TANAKA ホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長執行役員：田苗 明）は、田中貴金属グループの製造事業を展開する田中貴金属工業株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長執行役員：田苗 明）が、2016年3月2日（水）から4日（金）まで、東京ビッグサイトで開催される世界最大規模の燃料電池の展示会「FC EXPO（FC エキスポ）2016 ～第12回 [国際] 水素・燃料電池展～」に出展することを発表します。

ブース内では、近年注目されている再生可能エネルギーからの水素製造に用いられる固体高分子型水電解（PEEC）用電極触媒を初めて展示するほか、固体高分子形燃料電池（PEFC）用電極触媒、パラジウム合金水素透過膜、燃焼触媒など、水素社会に必要な燃料電池周辺技術における貴金属材料について、パネル展示や担当者から説明を行います。

また、2015年度は燃料電池自動車が発売されて以降、燃料電池用電極触媒の出荷量が過去最高になると見込まれていますが、本展では田中貴金属工業が長年、開発・製造を行っている燃料電池関連の貴金属材料について一同に展示、紹介します。なお、田中貴金属工業は、本展には開催初年度より継続して出展しています。

田中貴金属工業は1885年に創業以来、長年培った貴金属の技術を生かし、1985年から燃料電池用電極触媒の開発を開始。近年の家庭用燃料電池の需要や、燃料電池自動車が発売されることなどの背景から、2013年に約10億円を投資して、神奈川県内の自社工場内に燃料電池用触媒を開発・製造する専用工場を建設し、今後ますます需要の増加が期待される燃料電池触媒の安定供給体制を整えています。



〈出展ブースイメージ図〉



〈初展示の水電解用電極触媒〉

**【FC EXPO 2016 ～第 12 回 【国際】 水素・燃料電池展～ 出展概要】**

■会期：2016 年 3 月 2 日（水）～4 日（金） 10:00～18:00（最終日は 17:00 終了）

■会場：東京ビッグサイト 田中貴金属工業出展ブース《E36-24》

■主な展示内容：

【新製品】水電解用電極触媒	水電解のアノード（酸素発生極）に用いられる電極触媒です。触媒の表面積制御、および量産化に成功しました。
燃料電池用電極触媒 （白金触媒、白金ルテニウム触媒、 白金コバルト触媒）	長年培ってきた貴金属触媒技術や電気化学技術を結集し、燃料電池のカソード用に高活性な触媒を、アノード用に耐一酸化炭素（CO）被毒特性の優れた触媒を開発しています。
パラジウム合金水素透過膜	燃料電池の水素製造において、金属の中でパラジウムだけが持つ水素ガスのみを透過する性質を利用し、水素原料ガス中の不純ガスを取り除きます。田中貴金属工業の極薄材加工技術と高洗浄技術により、信頼性が高く、水素透過性能を最大限に引き出した水素ガス精製が可能です。
燃焼系浄化触媒	水素精製過程で発生した不純ガスなどを浄化・脱臭する触媒。メタルハニカムに貴金属触媒を担持した触媒により、低温での燃焼が可能です。
改質系触媒	家庭用等で普及が広がる燃料電池は燃料として水素を用いて発電します。改質触媒とは、天然ガスなどの炭化水素から水素を生成する触媒です。現在、天然ガスの主成分であるメタンを中心に水蒸気改質触媒の開発を行なっています。ルテニウムでカーボン析出を抑制、プラチナ・ロジウムで副生成物を抑制し、また幅広い温度領域で活性を維持し、低貴金属担持量でも高い活性を維持出来るようになり、低コストで触媒を提供可能です。
PROX 触媒	燃料電池に使用される改質ガス中に含まれる一酸化炭素を酸素で選択的に酸化除去するための触媒です。貴金属を高分散化することによって、高空間速度領域においても、低温から高温の幅広い温度領域でも高活性を示し、貴金属担持量を低く抑えた低コスト製品です。

## ■TANAKA ホールディングス株式会社（田中貴金属グループを統括する持株会社）

本社：東京都千代田区丸の内 2-7-3 東京ビルディング 22F

代表：代表取締役社長執行役員 田苗 明

創業：1885年 設立：1918年 資本金：5億円

グループ連結従業員数：3,511名（2014年度）

グループ連結売上高：8,564億円（2014年度）

グループの主な事業内容：田中貴金属グループの中心となる持ち株会社として、グループの戦略的かつ効率的な運営とグループ各社への経営指導

HP アドレス：<http://www.tanaka.co.jp>（グループ）、<http://pro.tanaka.co.jp>（産業製品）

## ■田中貴金属工業株式会社

本社：東京都千代田区丸の内 2-7-3 東京ビルディング 22F

代表：代表取締役社長執行役員 田苗 明

創業：1885年 設立：1918年 資本金：5億円

従業員数：1,992名（2015年10月1日） 売上高：8,726億7,700万円（2014年度）

事業内容：貴金属地金（白金、金、銀ほか）及び各種産業用貴金属製品の製造・販売、輸出入

HP アドレス：<http://pro.tanaka.co.jp>

### <田中貴金属グループについて>

田中貴金属グループは1885年（明治18年）の創業以来、貴金属を中心とした事業領域で幅広い活動を展開してきました。2010年4月1日にTANAKAホールディングス株式会社を持株会社（グループの親会社）とする形でグループ再編が完了しました。ガバナンス体制を強化するとともにスピーディな経営と機動的な業務執行を効率的に行うことにより、お客様へのより一層のサービス向上を目指します。そして、貴金属に携わる専門家集団として、グループ各社が連携・協力して多様な製品とサービスを提供しております。

国内ではトップクラスの貴金属取扱量を誇る田中貴金属グループでは、産業用貴金属材料の開発から安定供給、装飾品や貴金属を活用した貯蓄商品の提供を長年に渡り行ってきました。今後も貴金属のプロとしてグループ全体で、ゆとりある豊かな暮らしに貢献し続けます。

田中貴金属グループの中核5社は以下の通りです。

- ・TANAKAホールディングス株式会社（純粋持株会社）
- ・田中貴金属工業株式会社
- ・日本エレクトロプレイング・エンジニアーズ株式会社
- ・田中電子工業株式会社
- ・田中貴金属ジュエリー株式会社